

平成 24 年 7 月の実習報告 (3)

7 月は実習生が多かったので、3 回に分けて掲載します。

【17】

期間：平成 24 年 7 月 9 日～13 日 柿木図書館

学校：井萩中学校 2 年生 3 名

内容：返却本戻し、書架整理、お話し会、リサイクル本の処理、
児童室壁面作成など

感想：

図書館の仕事は思っていたよりも大変でした。本を棚に戻す際も、私はてまどってしまいましたが、これを、すばやくやっているみな様はすごいと思いました。

職場体験をさせていただいて自分自身が知らないことの方がとても多くて最初はびっくりしました。でもやっていくうちに図書館の中の仕組みや活動について深く学ぶことができ、とても知識をふやすことができた気がしました。

いつも利用している図書館なのに、初めて知ったことがたくさんありました。以前は書架の並び順は、あまりみていなかったのですが、今回の実習で、書架の並び順にルールがあることが分かりました。また、読み聞かせや、ブックトークもとても楽しかったです。一週間、ありがとうございました。

質問！「杉並の図書館について、どう思いますか？」:

本の種類が豊富で、読みたい本がすぐみつきりとても助かっています。杉並の図書館についてはいろんな図書館がありますが、私はすごく便利でつかいやすいところだと思いました。体験していくなかで他の図書館のつながりがあると感じたからです。

本がとにかくたくさんあって、様々な工夫があって、楽しい図書館だと思います。

おすすめの本

「大江戸神龍伝バサラ！」楠木誠一郎／作 角川書店

プチ家出のつもりで夜の神社にやってきた主人公さくら。ご神木のクスノキの梢にすわる白装束の美少年を見たそのとき、江戸時代にタイムスリップしていた！ さくらをよんだのは婆娑羅丸 通称、龍（ロン）。おでこに3つめの目もち、モノノケをつかい魔にする、ふしぎな男の子。「もとの世界に帰っちゃダメ！」と言われて、さくらは…。想いが時を超えるアドベンチャーストーリーです。

「ダレン・シャン」シリーズ Darren Shan／作 橋本恵／訳 小学館

主人公ダレンと親友スティーブは「シルク・ド・フリーク」というフリークショーのチラシを手に入れた事をきっかけにショーを見に行くことになる…。この出来事が、ダレンとスティーブの運命の歯車を大きく動かし始める。

「はてしない物語」ミヒヤエル・エンデ／作 上田真而子・佐藤真理子／訳 岩波書店

ミヒヤエル・エンデの作品はだいたいの物語が幻のような世界です。この作品もそんなミヒヤエル・エンデの長大作です。この物語はいつけん普通の男の子バスチアンが主人公です。バスチアンはある日、本屋さんの主人が不思議な本を読んでいました。それをバスチアンも読みたいと思って、かってにとってしまった。これが最初のストーリーです。とてもおもしろいので、すごく長いですがコツコツ読んでみてください。

「モモ」ミヒヤエル・エンデ／作 大島かおり／訳 岩波書店

このお話は、時間どろぼうとぬすまれた時間を人間にとりかえてくれた女の子モモの不思議な物語です。モモには不思議な力がありました。それは相手の話を聞いてあげるといふものです。でも普通の人なら、たいしたことじゃないと思うかもしれませんが、こんなことをできる人はめったにいないのでとてもすごいことだと思います。ぜひ読んでみてください。

「死神姫の再婚」シリーズ 小野上明夜（おのがみ めいや）／著 エンターブレイン

主人公のアリシアは、ある事件をきっかけに「死神姫」というあだ名がついてしまいます。そんな彼女が再婚した相手は悪名高い《強》公爵で…。この本の読み所は、「死神姫」というあだ名がついているのにもかかわらず、

天然系のアリシアと、アリシアに振り回される周りの人達の会話や行動です。
恋バナで笑いたいという方、ぜひ読んでみて下さい!!

「神様のメモ帳」杉井光 / 著 メディアワークス

冴えない高校生藤島鳴海と、ニート探偵アリスとその周りの人達のちょっと
哀しくて不思議な話です。

この本の読み所は、最後まで読まないといけない「暖かさ」です。真実を
みたときは、哀しみがあるけれど、そこから前を 向く力強い物語です。

絶対ハッピーエンドなので安心して読んで下さい!!

【18】

期間：平成 24 年 7 月 9 日～13 日 下井草図書館

学校：井荻中学校 2 年生 3 名

内容：本の修理、装備、配架、書架整理、予約本探し、返却作業、新刊受入、
お話し会、レファレンス体験（例題を出し、回答してもらおう）、展示（今
年話題の「宇宙」をテーマに、本の選定、飾り付けまで。利用者に大人
気でした。）

感想：

本が思っていたより重く、配架が大変だった。

展示体験で、テーマ（宇宙）に関する資料が想像していたより少なく感じた。

レファレンス体験はコツをつかんでくると楽しく感じたが、実際に利用者へ
対応するのは難しいだろうと思った。

予約資料の引き抜きをされていて、小説以外の本にも多くの予約が入っている
ことに驚いた。

書架の位置を少しずつ覚えてくると、スムーズに本を探せるようになった。

ラベルに数字（分類記号）があると探しやすいということに気付いた。

最初に思っていた図書館のイメージが変わった。静かなイメージだったが、
実際に働いてみると返却された本がたくさんあり、棚に戻さなければいけな
かったりと大変だった。



井萩中の実習生が準備した展示（場所：下井草図書館）

【19】

期間：平成 24 年 7 月 9 日～13 日 高井戸図書館

学校：向陽中学校 2 年生 2 名

内容：返却本戻し、本の修理、予約本探し、新刊受入、雑誌の装備・受入、ブッカーかけ、団体本の返却など

感想：

配架をする時、棚の場所を覚えるのが大変だったけど、地下の保存庫にいけたことがうれしかった。全体的に思っていたよりも大変だったけど、楽しかった。最終日にやった団体貸出（本）の返却は大変でした。全然配架が終わらず、少し残念でした。

楽しかったことは、地下の保存庫に行けたこと。大変だったことは、ブッカーかけ。大変だったけど、楽しかった。

質問！「杉並区の図書館について、どう思いますか？」:

近くに大きな図書館があってよかった。
古い本が多いと思った。

おすすめの本：

「消えた自転車は知っている」藤本ひとみ / 原作 住滝良 / 文 講談社
塾の特別クラスへ行くことになった主人公の彩は、そこにいたエリート男子
4人とチームを組むことに。5人それぞれの特技を出し合い、消えた自転車
を探します。彩の心の変化に注目して読んでください。

「三国志」吉川英治 / 著 講談社
三国志の小説の中で一番おもしろいと思うのでぜひ読んでみてください。

【20】

期間：平成24年7月9日～13日 高井戸図書館

学校：松ノ木中学校2年生 2名

内容：返却本戻し、本の修理、予約本探し、新刊受入、雑誌の装備・受入、
ブッカーかけ、団体本の返却など

感想：

配架は大変だったけど、本の装備は楽しかったです。今回の体験で、職場でのマナーなどを知ることができて良かったです。マナー以外にも人とのコミュニケーションのマナーも知ることができて良かったです。

ブッカーかけをしたことと、保存庫に行って予約の本を回収したり、配架したりしたことが楽しかった。でも探している本が見つからないときは、大変でした。全体的に思っていた以上に疲れたけど、楽しい部分もたくさんあった。

楽しかったことは、配架。大変だったことも配架。図書館へは行ったことがあるのですが、裏側を見たことはなかったので見れてよかった。

質問！「杉並区の図書館について、どう思いますか？」:

とても静かな所。
使いやすく、きれいで、便利だと思った。

おすすめの本

「デルトラクエスト」(シリーズ) エミリー・ロッダ/作 岡田好恵/訳 岩崎書店

「通学電車」みゆ 集英社

ある日、人が2人に・・・?? 普通ではありえない事があたりまえのようにおきる世界感にびっくりしました。

「オリエント急行殺人事件」アガサ・クリスティー/作 講談社

ある夜にオリエント急行の中で殺人事件が起きます。ある人が12回ナイフで刺されて死んでいることがわかります。その犯人とは・・・???

【21】

期間：平成24年7月11日～13日 西荻図書館

学校：文化学園大学杉並中学校2年生 1名

内容：返却本戻し、書架整理、新刊受入、保存庫の本のラベルはりなど

感想：

こんなにくわしくいろいろな仕事ができるとは思ってなかったので、びっくりしました。

図書館で働く人たちがどういう思いで働いているのかが、すごくよくわかりました。使う人が利用しやすいと思ってくれるようにするのは、とても大変だなと実感しました。

3日間で学んだことを他の人に伝えると、よりよい図書館になると思います。